

令和3年度 第2回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 令和3年11月24日（水）午後3時00分～4時45分
- 【場 所】 大牟田市 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 石川委員、堺(婦)委員、野田委員、松尾委員、江崎(君)委員、江崎(美)委員
須寄委員、柿川委員、堺(裕)委員
- 【欠席委員】 堤委員、金子委員、後藤委員、黒田委員
- 【行政関係者】 中島市民協働部長、富安市民協働部副部長、小宮教育委員会学校教育課指導室長、
平田人権・同和・男女共同参画課長、徳永スポーツ推進室長、音光同室主幹、
原生涯学習課長、楠同課地域学習担当課長、浦川同課社会教育主事、
森同課社会教育振興担当職員

◆あいさつ

中島市民協働部長
堺議長

◆報 告

1 市長、教育長への地区公民館の在り方の提言書の手交について

当日配布資料「地区公民館の在り方について提言書」を基に、堺議長、江崎副議長より手交の状況等を報告。（質問・意見等なし）

2 (仮称)総合体育館建設の進捗状況について

当日配布資料「大牟田市(仮称)総合体育館 計画概要」に基づき、徳永スポーツ推進室長、音光同課主幹より説明。以下の意見・質問が出た。

委員	体育館の前の楠は伐採されるのか？移植されるのか？あの楠は道路拡張など常に伐採される状況であったが、不思議に(伐採を)ストップされる状況になり、現在まで残ってきた経緯がある。皆さんがこの楠を大事に思ってきた。
行政職員	楠は2本ある。1本は根元が膨れており「コブ病」に罹患している。病気により根元が腐食し、近い将来倒れる恐れがあるので残念ながら伐採せざるを得ない。 楠に市民の皆さんが非常に愛着を持っておられるので、もう1本は可能な限り移植する方向で協議している。皆さんの目に付くところに移植する方針である。
委員	延命公園に来たら「あの楠」というようなシンボルとなっている。
行政職員	ただ約束できないのが、相手が生き物でなので、「100%移植できる」と言えないところがあるのはご承知いただきたい。
委員	体育館は近代的で完成が待ち遠しいが、駐車台数は何台ぐらいになるのか？
行政職員	現在は135台あるが、足りないという声もあったので、さらに今徒渉

	プール跡地を造成し100台準備する計画である。
委員	全体で、現在の駐車場よりどれくらい増えるのか？
行政職員	現在より100台程度は増える。

3 地区公民館等のWi-Fi設置の進捗について

当日配布資料「地区公民館のWi-Fi設置の進捗状況について」に基づき、浦川生涯学習課社会教育主事より説明。(質問・意見等なし)

◆ワークショップ

1 社会教育におけるSDGs/ESDの推進のためには

当日配布資料「大牟田市におけるSDGs/ESDへの取組」を基に、小宮教育委員会学校教育課指導室長より講話。講話を受けて、下記の感想が出された。

委員	<p>ESDについて、いま子どもたちは海や川に対する興味、川や海の汚れる原因についても一生懸命頑張って勉強している。</p> <p>今日も午前中、小学校の授業を見てきたが、汚れる原因は家庭排水の問題だということで取り上げて勉強をしている。</p>
委員	<p>いまの子どもたちは「子ども会が無い」だとか、「私たちが出来たことが出来ないでかわいそう」という思いがある一方、逆に私たちがやってこなかった「学び」をしているということが解って良かったと思った。</p> <p>子どもが学んできたことを親の立場としても一緒に学んで、大人の世代にも普及していくと、良いまちづくりが出来るのではないかと感じた。</p>
委員	<p>様々な取り組みがなされている中で、この子どもたちが大人になったときに素晴らしい社会が生まれているという実感を持っています。</p> <p>いま素晴らしい子どもたちが育っています。教育委員会はすべてのことに対して頑張ってください。</p>
行政職員	<p>10年ぐらい前、当時中学生だった生徒が「ESDが素晴らしいので、もっと勉強したい」ということで高校・大学で学んだあと教員になり、令和元年度から大牟田市に採用になり教員をしている。ESDが結構印象に残っていたようで、自らの経験を子どもたちに伝えたいと考え、小学校の先生になった。一例を紹介した。</p>
委員	<p>まさにESDだ。つながっている。</p>
委員	<p>勉強している子どもたち本人は良いんだが、それを大人たちにどう伝えていくか、社会にどう広げていくか、そこまで踏み込まないと、ただ単に「勉強をした」で終わってしまう。「まず、両親に話さない。そして地域に広げていく。対外的に発信していかないと意味がない。」と子どもたちに伝えている。</p>

議長	<p>私たちも今日、初めて知ったこと等もあったので、社会教育の立場からもぜひとも支援して、また他とも連携してよりよい成果ができるようにしていきたいと思う。</p> <p>大人社会の創り手ですね、「担い手」ではなくて「創り手」という言葉が印象に残った。まさに大牟田市の計画を教員の方で創り手を育てておられるという多くの ESD 事例から感じた。今後もまた連携していきたいと思います。</p>
----	--

浦川生涯学習課社会教育主事より「今後の社会教育における SDGs/ESD を推進するために」というテーマでワークショップの趣旨説明。以下、ワークショップでの意見交換が出された。

委員	<p>SDGs/ESD の推進について、今日話を聞きながら、端的に出来るところで出来ることから実践・計画。これがキーワードだと思う。家庭内で出来ること、学校内で出来ること、校区内で出来ること、その実践・継続がポイント。そのために何が必要か？それが「教育」ではないかと思っている。</p>
委員	<p>食の勉強、食育活動を手鎌小学校が実施しているということだが、心と食育はつながるところがあるので、「心の教育」「食の教育」をもっと充実していけたらいいのかなと思う。</p>
委員	<p>学校で子どもたちはいろんな勉強を熱心に行っているが、子ども達だけだととまらずにどう地域へ伝えていくかと、あるいは地域とどう協働してそれを進めていくかのところ。もう少し発信し、地域と協働が出来たらいいなと思った。</p>
委員	<p>学校行事とまち協の行事を一緒にやるのが、今後必要になるのではないかな？</p> <p>校長先生もまち協の会議に参加していただいている。より身近に学校行事のことが把握できるので、学校と一緒にやっつけていこうかと思っている。</p>
委員	<p>私たちが研修に行くと、学校の中に地域の人たちがどんどん入っている。よって、学校の教育の現場に地域の方が一緒に授業に関わるとか、年齢的に関係なく学校へ入って行っているケースが多くなっている。</p> <p>学校も地域にもっと入り込んでいくと、学校の中では見せない生徒の姿が見えてくる。地域の人と交流すると生徒の表情が変わって明るくなったということを聞いてきた。大牟田もどんどんそうになっていっているが…。</p>
委員	<p>前は学校との敷居がすごく高かった。学校も地域と協働でやっていかなくてはいけない。</p>
委員	<p>学校行事と地域行事のコラボというところに意見は近い。人と人とのつながりを持っていることが大切と思う。これだけ情報社会になっても、最終的には人と人とのつながりというところで、身近に出来そうところは、学校と地域の協力。白川小では子どもの居場所というイベントを2月に1回、まち協の方と子どもたちとの協働でやっているが、これがまち協の方にも子どもたちにもすごく好評でご参加をいただいている。こういう感じ</p>

	で輪が広がっていったら良いんじゃないか？と思っている。
委員	ペットボトルのキャップを集めてアフリカのどこか国へ送る際に、どれぐらいの量でいくらになるということで子ども達から聞いて、私たちも習慣になってキャップだけは持ち帰って集めて寄付をしている。子どもから親へ影響し、自分たちも環境に配慮できることを学んだ。
委員	先ほどの講話で、中友小学校の子ども民生委員がでてきたが、小学生だけなので、今後中学生の子ども民生委員、高校生の子どもの民生委員も出来たらいいのではないかという空想で、「少しずつ大きくなったね。中学校へ行ったね。高校生になったね。」というところでふれあっていけると、その子たちが地域へ入りやすくなるのではないか。地域の担い手になってくれるのではないか？いま、地域の担い手が少なくなっている中で、そういった次世代育成の意味も込めて、子ども民生委員が中高生へ広がればいいと感じた。子どもたちも大きくなれば、ちょっとした困り事とかは対応できる。例えば電球を取り換えるとか、重たいものを動かしてあげるとか。子ども民生委員に幅広い子どもたちが関わってくれるといいなと思う。
委員	いまもったいないなと思っていることが、小学校は一生懸命取り組んであるが、中学校に上がるとそこでなんか切れているというわけではないが、中学校では学習の中味が変わっているからかも知れないが、小学校で育ったものが中学校にもつながっていくと、もっと良いかな？と思う。
委員	地域としてつなげていくと、子ども達は一旦離れていっても、全部が全部じゃないが、帰ってきてくれるんじゃないかな？
議長	私も以前まちづくり協議会の会長として地域課題の解決に取り組んできたが、ESDの手法を取り入れるということは、非常に効果的なのではないかと感じる。理念と課題と目標がはっきりしたなかで取り組むことが成果に結びついていることがひしひしとわかった。社会教育委員の方々も地域の立場からそれぞれ学校との連携を取られながら、活動されていることであろうかと思うが、今回の講話の中で得たESDの知識を踏まえて、今後の活動をしていただけたらいいと思うとともに、この社会教育委員の会議でも状況等を提示していただき、情報を共有して進めていきたいと思う。
委員	通学合宿のことだが、通学合宿を経験した子どもたちがいま小学校4年生から6年生までに行っているが中学校でもやってほしいという声が聞かれる。 中学生になった子どもたちが小学生の見守りというか、小学生が通学合宿をやっているところに来てお手伝いをしてくれるということをお聞きします。残念ながらコロナ禍で、今のところやれていないようですが…。
	現在子ども達にはESDという教育が学校で行われていますが、私たち大人にはどう気づいてもらえばいいのか。ここで社会教育の出番かと思っております。まずは「自分たちが住んでいるまちの素晴らしさ」に気づいていた

行政職員	<p>だくことが大切であると思う。今、社会教育において事業を展開し、愛着を持って暮らしてもらえるようなまちにすると、自分も何かできるのか？と思う人も増えてくるのではないのか？と考えます。</p> <p>また、現在も地区公民館で地域や学校の支援を提言いただいたが、地域と学校の橋渡しについて、本当に我々が考えていくべきことではないか？</p> <p>いま、特色ある教育活動が各学校で行われているが、社会教育の各施設において特色ある取り組みや事業を地域へ売り込むべきであると思った。</p> <p>議長から「目標と理念をしっかりと持つことが大切だ」とのご意見も拝聴したが、実はここが我々の一番弱いところかと思ったところである。職員が入れ替わるスパンが短いので、なかなか引き継ぎが上手くいかないことを意識しながら「目標と理念をしっかりと持った社会教育行政」に取り組んでいきたい。</p>
------	--

◆その他

1 第74回成人式について

配布資料「第74回 成人式の開催について(ご案内)」を基に楠生涯学習課地域学習担当課長より説明。

2 第36回人権フェスティバルについて

配布資料「第36回人権フェスティバル」を基に平田人権・同和・男女共同参画課長より説明。

3 令和3年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について

オンライン(ZOOM)で実施された研修会の感想等について野田委員より報告。

4 令和3年度社会教育主事講習(九州大学)現地研修受け入れについて

令和3年7月29日～31日現地研修を受け入れた内容等について事務局より報告。

5 翼の会おおむた ～大牟田ガールスカウト活動のご案内～ について

配布資料「パープル・ライトアップ、ジェンダー平等カルタの作成」を基に江崎委員より報告。

6 令和3年度地域ESD支援事業

～地域の魅力を次世代につなぐ～勝立よかもん物語 ふるさと歴史講座について

配布資料「令和3年度地域ESD支援事業～地域の魅力を次世代につなぐ～勝立よかもん物語 ふるさと歴史講座の感想」を基に柿川委員より報告。

⇒次回会議 令和4年1月下旬予定